

ふろんていあタウン工房が NPO 法人になったのが 2014 年 6 月 16 日、ふろタンインタビューコーナーの第 1 回インタビューは、その年の 12 月 10 日のカフェと雑貨「ほれやあれ」です。

高円寺の珈琲店「ほれやあれ」の店長安彦隆さんと明治学院大学国際協力ボランティアに携わっていた小野寺有菜さんのお二人への「ミンガラバー・ユネスコクラブ」設立準備中だった 10 年前のインタビューです。

1. スタート時のふろタンインタビュー

ふろんていあタウン工房が NPO 法人になったのが 2014 年 6 月 16 日、ふろタンインタビューコーナーの第 1 回インタビューは、その年の 12 月 10 日のカフェと雑貨「ほれやあれ」です。

高円寺の珈琲店「ほれやあれ」の店長安彦隆さんと明治学院大学国際協力ボランティアに携わっていた小野寺有菜さんのお二人への「ミンガラバー・ユネスコクラブ」設立準備中だった 10 年前のインタビューです。



ミャンマー北部で馬車に乗ってコーヒー農園を探し回り、シャン州南部の「ユアンガン」というコーヒー農園から自然栽培無農薬の「ゴールドライアングル」に巡り合い、スワヒリ語の「ゆっくり」の「ポレポレ」とミャンマー語で「大丈夫」の「ヤレヤレ」を組み合わせた名前にした珈琲店をスタートしました。

ふろタン工房のホームページで一番人気のインタビューコーナーですが、第2回は「御嶽山」と「百草丸」の井原正登さん、ゴールデンウィーク前の桜満開の木曽路の古い宿場町藪原、玄関の前庭にキハダの木がある日野製薬に、木曽ユネスコ協会会長の井原正登さんをお訪ねしてのインタビューです。



第3回が、日本橋高島屋の美術画廊での石彫刻家の大成浩さんが、若い石の造形家を率いて始めた「石空間展」25周年記念会場でのインタビュー、奥様の栄子さんとご一緒の、お盆の迎え火の日のインタビューです



第4回が植物図鑑で森守れの藤川和美さんと安田重雄さん、そして第5回が「百名山にも色々なシナリオがある」の小野寺昭さんです。



2. 芝増上寺テントの前でのふるたんインタビュー

そして第6回が増上寺のテント前でのインタビューです。

NGO セダナー・ヤンゴン事務所の職員として学校建設と地域開発事業を組み合わせたカタチでのプロジェクトに協力し、教育熱心で働き者のミャンマーの人たちが自主的に行う仕事の手助けをしようと2010年にミャンマー各地の民芸品を流通させたいという思いで、ヤンゴンに手しごと雑貨の店「dacco」を立ち上げた和田直子さん。



「店の名前「dacco」の意味は？ ミャンマー語ではないみたいですし…？」という私の質問には、「子供を抱っこするのダッコです。もので云えば抱っこ紐、私にも女の子が一人いますが大切にしたい人や物を抱きしめる、ハグしたいものがミャンマーにはたくさんあります。少数民族がすむ町・村には、それぞれの州に昔から伝わっている優れた技術の特徴ある織物があります。チン州にもシャン州にもラカイン州にも…。普段使いの雑貨にミャンマーの伝統文化・技術を織り込んだバックや小物入れなど日本や海外へのみやげ物になるような品づくりを目指してミャンマーの伝統技術の継承支えたい、それが私の夢であり仕事ですと話しています。

インタビュー終了後、和田さんと仲良しだった第1回インタビューの小野寺有菜さんがテントの前に駆けつけてきてくれてみんな一緒にのしかヨシ写真になりました。



3. 2017・2018年のふろたんインタビュー

第7回が中学生時代もミャンマーで暮らした経歴がある岡本郁子さんを2017年5月東洋大学白山キャンパスにお訪ねしてのインタビュー「ミャンマーの時の流れを想う」でした。



第8回は《びるまの竖琴》で「ビルマの竖琴」で恵比寿のミャンマー料理店での店主モーココさんと「昭和」コンサルタントの林茂雄さんのインタビューでした。



第9回が2018年2月の「年中行事と室礼」+「江戸東京学」のまちづくり、長くエコテザイン研究に取り組んでこられた法政大学名誉教授の高橋賢一さんと、奥様で室礼研究家の久子さんから、自然と共生し感謝する日本の伝統行事や歴史的な環境・文化インフラのことなど、興味深いお話を楽しく伺う第1回と同じ会場「ほれやあれ」でのインタビューでした。

(株)URリネージの前身の(株)都市開発技術サービスが、1997年4月に発行した「創立20周年記念誌」を持参してお二人の話を伺いました。



これからの 都市開発技術サービスが めざすもの



出席者
木村直人
高橋久子
東矢尚子
平井健三
町田次男
右松國彦
三田村啓己男
司会
浅谷陽治

記念座談会に出席された久子さんの、みなみ野自然塾スタートの頃のお話、

「自然塾では、お米づくりから畑、鳥観察、植物観察など、暮らしのいろいろなことを教わりました。例えば取れた稲穂で、お正月飾りも作らせてもらいました。山の中にはリースを作る材料もたくさんあって、染物もやったり。沢庵づくりやいろいろな料理の方法なども教えてもらいました。塩だけのおにぎりのおいしさなどそこで知りました

2018年度 旧暦で楽しむ年中行事と室礼
—行事のところが形にして日本人のころを見る—

<p>第1回 2018年4月10日(火) 申込締切 4月3日</p> <p>上巳の節供 旧暦三月三日 2018年4月10日</p> <p>流し雛の室礼と紙雛作り 紅色の巻帯で紙雛を作り、アクリル紙にしつらえます。お雛様の元の姿である流し雛を染みし整えます。</p>	<p>第2回 6月12日(火) 申込締切 6月5日</p> <p>端午の節供 旧暦五月五日 2018年6月18日</p> <p>和紙で作る江戸の鯉のぼり 端午は厄除けの日です。武士の時代、男の子の節供に、江戸商人が台無しして親子に流行じり高く種痘の流行を恐れました。</p>
<p>第3回 8月21日(火) 申込締切 8月14日</p> <p>お盆 旧暦七月十五日 2018年8月21日</p> <p>お盆の室礼 祖霊への供え物 電と正しを取り上げました。対となる作業です。電と正し、お盆は古来から行われていた祖霊祭で、なごり入ってきて、日本化したお盆と習合したのがお盆といわれます。</p>	<p>第4回 10月9日(火) 申込締切 10月2日</p> <p>重陽の節供 旧暦九月九日 2018年10月17日</p> <p>和菓子「はさみ菊」作り 衣帯を染め菊を練りきりてく作り、藍で染め花びらを糊んで菊葉に模倣です。</p>
<p>第5回 12月18日(火) 申込締切 12月11日</p> <p>七五三 旧暦十一月十五日 2018年12月11日</p> <p>七五三の室礼 お正月飾りの一つである人まの送迎飾りの七五三を飾ります。一歳・五歳・三歳、数珠に込められた深い意味があります。</p>	<p>第6回 2019年1月29日(火) 申込締切 1月22日</p> <p>お正月 旧暦一月一日 2019年2月5日</p> <p>お正月の室礼 「初夢」の室礼(一か上二歳三詣り)後と初を次ぎ無事大切といわれるお正月。物めて見る夢に願いを託します。</p>

もっと楽しく、
少しだけいいいな
お母さん仕事
家事力をぐんと上げる93のヒント
ひなあゆみ

暮らし上手で、
育て上手。

いつもスッキリ、すっきりと楽しくひびく言葉を切り取り、暮らしを上手に、ひびくまで、さあ、さあ、すべてがぐんぐん回り出す生活のコツを初公開

どこにでもいる普通の主婦……
なのに「マネしたい!」と思われるのはなぜ?

1位の
大人気ブLOGGER

娘は、暮らしを大事にするという考え方で、日々の食生活とか環境にやさしい暮らしとかに取り組んでいます。室礼も私から学んでいて孫たちも一緒にやっています。本の中でも室礼に触れている部分が多々ありますが、私から孫に伝えたいことでもあります。室礼はそもそも世代を越えてつなげる、また家庭から家庭につなぐものです。現在では、核家族化でつながりが薄くなりましたが、では、どうつなげるかです。またさらに広がりをを持たせるにはどうするか。早い話、横に、つまり興味のある人につないでいけば良いわけです。私はそのつなぎ役を担えればと思っています。雑まつりにはお雑様はもとよりいろいろなものをつくっていますが、それも本に載っています。尚、詳細は、ひぐまあさこ著、「お母さん仕事」や「ひぐま家ごはん日記」をご覧ください。」

仲の良いご主人の賢一さんのお話

「私の生まれ育ったふるさと長岡のこと、また東京のまちの変化などに関係づけ「私史」というカタチで取りまとめてみたいと思います。

具体的には、長岡ペンクラブ発刊の機関誌「Penac」(ペナック)への投稿を通してふるさととの交信を続けある段階で集大成するつもりです。」

インタビューが終わり、お二人の生年月日を伺って「八曜日占い」をしてみました。賢さんの誕生日は日曜日で守護動物はガルーダ(鳥)、久子さんは金曜日でモルモットです。相性表を見るとランクA!すべての条件を満たす完全な相性と書かれていました。さすが理想のご夫妻です。最高位との結果が出て、めでたく新春インタビューのお開きとなりました。

第10回が2018年12月の「まちナビ倶楽部の居心地観察会」でまちナビ倶楽部スタート時からのメンバー小澤一美さんと桂久誼さんへのインタビューでした。



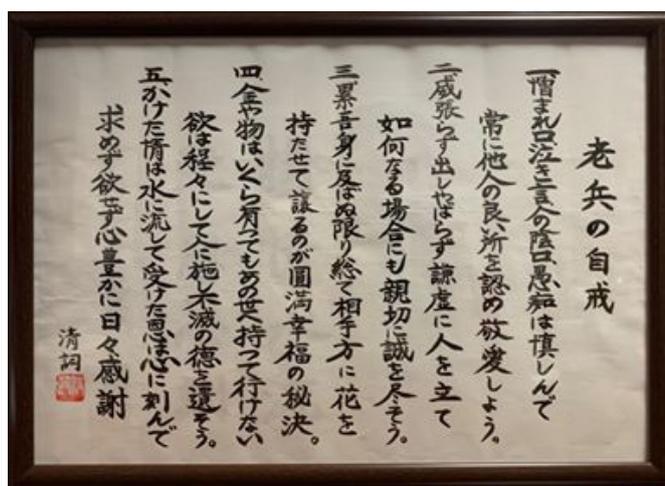
僕らは居心地探偵団 其の8



2018年4月
NPO法人 まちなび倶楽部

4. 止まったままになっているふろタンインタビュー

2020年1月17日の第11回ふろタンインタビューが「ミャンマーとの絆・今泉記念ビルマ奨学会」で今泉清詞さんと城西大学教授のティティレイさん、その時からもう4年間もインタビューコーナーは止まったままになっているのです。



2021年4月発信のふろタン通信38号を覗いてみましょう

先が見えないパンデミック！ 新型コロナウイルス禍で外出自粛・イベント中止など自粛ムードが拡がりふろタンメンバーも多くが在宅勤務になったりして交流がままならない中での発信になった という見出しでお届けしたのが1年前の4月22日付の通信35号、最初の緊急事態宣言の時でした。

通信35号は3章立てになっていて、最初が◆2021年2月1日 ミャンマー軍事クーデター、次が◆4月18日 芝増上寺鎮魂供養、最後が◆緊急事態宣言下の自粛生活の記事です。

2月2日の毎日新聞には、日本在住のミャンマーの人たちがアウンサンスーチーさんの写真を掲げて国軍のクーデターに抗議の声をあげている「ミャンマー平和的解決を」という記事を載せています。

インパール従軍まで遡って話をされた今泉清詞さんと一緒に話し合っていた城西大学教授(ミンガラバー・ユネスコクラブ)のティティレイさんの国軍クーデターを懸念するコメントも載っていました。



第11回で終わっていたインタビューコーナー、実は私の家のパソコンに幻の第12回インタビューが遺されていたのです。その紹介をしてふろたんインタビューの締めになります。

5. 幻の第12回ふろたんインタビュー

2021年5月18～21日「ミャンマーの平和を願う写真展」が鎌倉のカトリック雪の下教会で開催との話を聞き18日のオープンの時間に合わせて訪れました。主催者として受付席に座っておられたのが「ビルマ応援の会」代表の宮下夏生さん。初めてお会いし、言葉を交わしながら写真展を見学してきました。

2007年11月6日スタートの「ビルマ応援の会」の沿革から、さらに英国留学時代にまで遡ってのミャンマーと日本の絆のお話を伺いながらの見学会になりました。

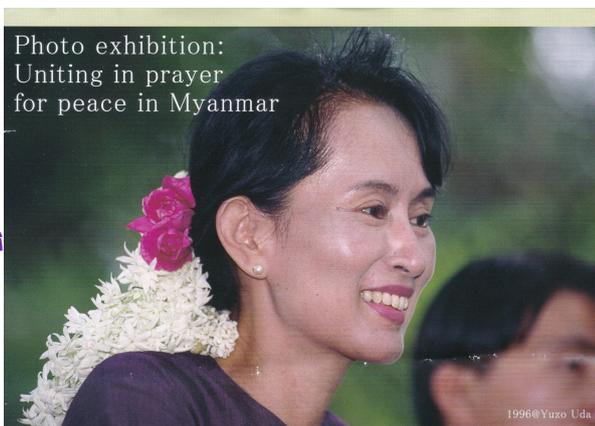


Photo exhibition:
Uniting in prayer
for peace in Myanmar

1996@Yuzo Uda

ミャンマーの平和を願う写真展
アウンサンスーチーと家族の写真を中心に
2021年5月18日(火)～5月21日(金)
開館時間:5月18日13時～16時 19日11時～16時
20日11時～16時 21日11時～15時



会場:カトリック雪ノ下教会
Catholic Yukinoshita Church
神奈川県鎌倉市小町2-14-4
2-14-4 Komachi, Kamakurashi, Kanagawa
TEL 0467-22-2064

主催:ビルマ応援の会
<http://biruma-oen.net/>

協力:カトリック雪ノ下教会
<https://catholicyukinoshita.jp/>

